



すずかしりつみ だしょうがっこう
鈴鹿市立箕田小学校

みだっ子

かっこつきよいくもくひよつ
＜学校教育目標＞

じ た そんちよう まな
自他を尊重し、ともに学び、
たか あ こ いくせい
高め合う子の育成

れいわ ねん がつ にち か
令和8年3月17日（火）NO. 23

だい かい がっこううんえいきょうぎかい

第6回 学校運営協議会

今年度も残りわずかとなってまいりました。学校では今、今年度を振り返り、様々な観点から成果や課題についてまとめるとともに、来年度に向けて準備を進めているところです。学校運営協議会では、今年度の学校の取組について評価をしていただき、鈴鹿市全体でとり組みきょうかをはか がくりよくこうじょう かつよう ちようきけつせきたいさく ちいきれんけい ひにんちのうりよく いくせい かんてん いけんこうかん おこな 能力の育成」の観点から意見交換を行いました。

＜学校より＞

- ・ 学力向上に関しては、子どもたちの学ぶ意欲、協働的に学ぶ姿勢はよいが、全国学調などの数値としての結果に表れてきていないのが課題であるので、引き続き基礎基本の定着、授業改善に取り組んでいきたい。
- ・ 長期欠席対策については、スクールカウンセラーやスクールライフサポートの方などと連携を取りながら取組を進めているが、今年度は改善傾向がみられた。
- ・ 地域とのつながりが深い学校である。「地域の大人に、授業や放課後など勉強やスポーツなどに関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがあるか」という児童質問紙(6年)の肯定的回答は、全国平均に比べ、12.9%も高い結果であった。

＜委員より＞

- ・ 子どもたちはリアルな体験や経験が減っていると思う。場面をイメージする力などを育てるには、人との関りが大事である。外部講師に授業をしてもらう「出前授業」などの活用を積極的にしてもらおうといいと考える。
- ・ 先生たちの業務は確実に増加している。クラスの子どものための時間を確保するためにも、任せられることは地域に任せるといいと思う。また、自分もできるだけ手伝いたい。
- ・ 学校を支援するボランティアが高齢化している。また、一方で教職員不足も問題になっている。教職員を目指す大学生にもボランティアとして、子どもたちに関わる仕事を体験してもらってはどうかと考える。

などのご意見をいただきました。以下、学校運営協議会にも出させていただいた児童、保護者アンケートの結果、体力・運動能力調査結果を掲載させていただきます。